

「膵嚢胞性腫瘍の自然経過に関する検討」について

2012年4月1日～2023年3月31日の間に、
膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）の治療を受けられた患者さんへ

研究機関 獨協医科大学病院 消化器内科
研究責任者 入澤篤志
研究分担者 嘉島 賢、坂本智哉、稲葉康記、久野木康仁、佐久間 文、福土 耕、牧 匠、
山宮 知
審査委員会 獨協医科大学病院 臨床研究審査委員会

このたび獨協医科大学病院消化器内科では、膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）の病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、この研究は、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に従い、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して行います。

なお、本研究は研究に参加される方の安全と権利を守るため、あなたの情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

1. 研究の目的と意義

膵嚢胞性腫瘍は近年の画像診断の発展により偶発的に発見されることが増えています。その頻度は報告によって差が大きいものの、検査を受けた患者さんの数%に認められるとされます。膵嚢胞性腫瘍とは、膵管内乳頭粘液性腫瘍（Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm：IPMN）、粘液性嚢胞腫瘍（Mucinous Cystic Neoplasm：MCN）等、複数の疾患を含む概念で、これら膵嚢胞性腫瘍のうち、粘液成分を伴う病変には悪性転化（癌化）を来すリスクがあると言われていています。

膵嚢胞性腫瘍のうち、もっとも頻度の高いIPMNは比較的緩徐な進行が特徴のひとつとされていますが、長期経過による悪性化率に関してのエビデンスは乏しいのが現状です。悪性化リスクを有すること、比較的進行が緩徐であることから経過観察のため定期検査をお願いしていますが、経過観察期間が長期にわたり受診の負担が大きいという側面があります。適切な経過観察法の模索のため、今回の検討ではIPMNの患者さんに対してその背景、血液・尿検査データ、各種画像検査、治療法について検討し、IPMNの自然経過・長期予後を明らかにすることを目的としています。

2. 研究対象者

2012年4月1日～2023年3月31日の間に獨協医科大学病院 消化器内科において、IPMNの診断で検査・治療を受けられた方を対象とし、200名の方にご参加いただく予定です。

3. 研究実施期間

研究全体の期間：本研究の実施許可日 ～ 2029年3月31日

4. 研究方法

患者さんの背景や血液、尿検査のデータ、CTなどの画像所見、治療法などについて後ろ向きに解析を行います。

5. 使用する試料・情報

◇ 研究に使用する試料

本研究では、試料の利用はありません。

◇ 研究に使用する情報

1) 患者背景

年齢、性別、既往歴、嗜好歴（飲酒、喫煙量）、内服薬、症状、理学的所見

2) 血液検査データ

- 血液血算検査（WBC、RBC、Hb、Ht、PLT）
- 血液生化学検査（AST、ALT、T-Bil、LDH、ALP、GGTP、BUN、Cr、AMY、膵AMY、Na、K、Cl、CRP、Alb、TP、TC、TG、LDLC、HDL、CEA、CA19-9）

3) 尿検査データ

- 尿生化学検査（尿中AMY）

4) 腹部CT、胆管膵管画像(Magnetic Resonance Cholangiopancreatography;MRCP)、超音波内視鏡(Endoscopic Ultrasonography;EUS) 画像所見

研究対象者となる患者さんの情報は特定の個人を識別することができないよう加工し、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

6. 情報の保存と廃棄

エクセルで作成したデータシートに上記データ入力を行います。なお氏名、住所など、個人を特定できる指標および上記以外の項目は入力しません。また、研究用の対象者識別番号は患者IDとは別の任意の専用番号（対象者識別コード）を入力します。なお、本エクセルデータはインターネットに接続していないパソコンで保管します。また研究終了後は、5年間の保存ののちに速やかにデータを削除、破棄します。

7. 研究計画書の開示

患者さん等からご希望があれば、個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、本研究の研究計画書等を閲覧することができます。下記連絡先までお問い合わせください。

8. 研究成果の取扱い

研究結果は、研究対象者にプライバシー上の不利益が生じないよう、適切に特定の個人を識別することができないよう加工されていることを確認し、医学関連の学会および学術誌に投稿を行い公表します。研究参加者への研究結果の開示は行いませんが、問い合わせがあった場合には論文発表後であれば結果の説明を行います。

9. この研究に参加することでかかる費用について

本研究は通常の保険診療内で行われ、研究対象者の費用負担は発生しません。また、研究対象者への謝礼はありません。

10. この研究で予想される負担や予測されるリスクと利益について

本研究は既存の情報を用いるため、主に予測されるリスクは個人情報の漏洩に関することですが、データは特定の個人を識別することができないように加工し、厳重に管理することで個人情報の保護について対策を行います。また、この研究に参加することで直接利益を得られないかもしれませんが、この研究を行うことで、有用な情報が得られれば、将来的に多くの患者さんの手助けになる可能性があります。

11. 知的財産権の帰属について

この研究の結果として、知的財産権が生じる可能性があります。その権利は獨協医科大学病院消化器内科に帰属します。

12. この研究の資金と利益相反 *について

この研究は、獨協医科大学病院 消化器内科の研究費によって行われます。また、この研究にご参加いただくことであなたの権利や利益を損ねることはありません。

*利益相反とは、外部との経済的な利益関係によって、研究の実施に必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念される行為のことです。

13. 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはいたしませんので、2029年3月31日までに下記にお申し出ください。何らかの理由により、あなた自身が研究計画書の閲覧希望、研究の拒否希望を述べることや決定することが出来ない場合には、あなたのご家族やあなたが認める方を代諾者としてお申し出ください。情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、解析開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

獨協医科大学病院 消化器内科
研究担当医師 嘉島 賢
連絡先 0282-86-1111（平日：9時～17時）

14. 外部への情報の提供

外部への情報提供は行いません。